

# 令和5年度 学校評価の概要

## 1 学校評価の方法

今年度は、中間評価（6月下旬～7月上旬）と最終評価（11月下旬～12月上旬）の2回、学校評価を行った。

学校評価委員会で評価項目と質問事項等を検討し、職員会議で職員に周知を図った。その後、職員には中間・最終評価ともに Google form でのアンケートを実施した。保護者には中間評価は紙面でのアンケートを実施し、最終評価は Google form でのアンケートを実施した。職員と保護者ともに、質問事項ごとに具体的な課題・改善策等を記入する自由記述欄を設けた。また、保護者アンケートには「意見・要望」を記入する自由記述欄を設け保護者の意見・要望等を把握できるようにした。

## 2 学校評価の集計・分析方法

- (1) 学校経営の努力点を基に設定した各質問事項の達成度評価に、以下の配点をして平均点及び評価ごとの割合を算出した。なお平均点の算出に当たっては、質問事項ごとの有効回答者数で計算した（保護者も同様）。（ ）内は、保護者の評価観点。

<input type="radio"/> 十分達成している（十分実践されている。十分当てはまる。）	…4点
<input type="radio"/> おおむね達成できている（おおむね実践されている。ほぼ当てはまる）	…3点
<input type="radio"/> やや不十分である（あまり実践されていない。あまり当てはまらない）	…2点
<input type="radio"/> 不十分である（実践されていない。当てはまらない）	…1点

- (2) 職員の自己評価・保護者アンケートの自由記述欄への記入事項を集約し、評価の参考とした。  
(3) 中間評価及び最終評価の結果から、平均点が低い項目や自由記述などから挙げた課題について、解決策を検討する。  
(4) 年度末に学校評価の分析を行い、今年度の中間評価と最終評価との比較及び次年度に向けての課題を検討する。

## 3 学校評価の結果（別紙「集計結果」を参照）

### (1) アンケートの回収率

職員	中間	97.7%(43/44人)	保護者	中間	86.7%(39/45人)
	最終	100%(45/45人)		最終	88.3%(38/43人)

職員は、およそ100%。保護者は、中間と最終とともに85%と超える回収率となった。

### (2) 保護者アンケートについて

#### ア 平均点

##### (ア) 中間評価

中間評価では、⑬【学校は、ホームページ（ブログ）の充実活用などによる教育活動の発信や関係学校・機関・・・(3.38点)】以外は、3.5点以上の高い評価となっている。

##### (イ) 最終評価

最終評価では、⑯【子どもは、給食を楽しみにしている(3.47点)】以外は、3.5点以上と高い評価となっている。

## イ 最終評価の結果から

(ア) 「4：十分実践されている。十分当てはまる。」「3：おおむね実践されている。ほぼ当てはまる。」の2つの評価の割合が100%の項目（12項目）

- 【① 教師は、人権を大切にし、言葉遣いや対応は、丁寧で適切である。】
- 【② 教師は、子どものことをよく理解し、適切に対応している。】
- 【③ 学校は、感染症への正しい認識を啓発し、その対策を行っている。】
- 【④ 学校は、安全な二次調理や、丁寧な給食指導を行っている。】
- 【⑤ 学校は、防火防災・防犯への備えをしている。】
- 【⑥ 学校は、校舎改築の状況に応じた適切な教育環境づくりを行っている。】
- 【⑦ 学校は、個別の支援教育計画、個別の指導計画等の説明をし、児童生徒、保護者と目標を共有している。】
- 【⑧ 子どもの実態や課題に応じた授業が行われている。】
- 【⑨ タブレット端末などの機器や、多様な教材等を活用した授業が行われている。】
- 【⑩ 社会参加と自立に向けて、小・中・高一貫した教育を行っている。】
- 【⑪ 進路に関する情報や福祉サービスの情報などを提供している。】
- 【⑬ 学校は、ホームページ(ブログ)での教育活動の発信や、関係学校・機関への連携により、特別支援教育の理解啓発に努めている。】

(イ) 「2：あまり実践されていない。あまり当てはまらない。」「1：実践されていない。当てはまらない。」の評価がある項目（5項目）

- 【⑫ 学校は、学校間交流および居住地校交流に積極的に取り組んでいる。】  
(2.6%)
- 【⑭ 授業参観やPTA等の実施に向けて工夫をし、その内容の充実に努めている。】 (2.6%)
- 【⑮ 子どもは、毎日楽しく登校している。】 (10.5%)
- 【⑯ 子どもは、給食を楽しみにしている。】 (13.2%)
- 【⑰ 子どもの成長を感じる。】 (2.6%)

## ウ 最終評価の平均点が中間評価と比較して0.1以上上昇した項目（1項目）

【⑬ 学校は、ホームページ(ブログ)での教育活動の発信や、関係学校・機関への連携により、特別支援教育の理解啓発に努めている。 (+0.12)】

## エ 最終評価の平均点が中間評価と比較して0.1以上減少した項目（1項目）

【⑦ 学校は、個別の支援教育計画、個別の指導計画等の説明をし、児童生徒、保護者と目標を共有している。 (-0.14)】

## (3) 職員のアンケート結果

### ア 平均点

中間・最終評価ともに、全ての項目で3点以上と全体的に高い評価になった。

- ・ 中間評価で平均値が低かった5項目を学校の課題として設定した

【① 学校は、個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づく一人一人の課題や手立てを明確にした授業づくりに取り組んでいるか。】 (3.19)

- 【② 学校は、キャリアパスポートやキャリアプランニング・マトリックスの活用を図り、進路指導の充実に努めているか。】 (3.05)
- 【③ 学校は、ICT活用や指導方法の改善をするなど学習の基礎・基本を定着させ、主体的な学びにつながる授業づくりに努めているか。】 (3.28)
- 【④ 学校は、PDCAサイクルに基づいた「1グループ2授業」の実践を通して、専門性の向上に努めているか。】 (3.23)
- 【⑰ 学校は、校務支援システムの活用及びデータや教材の共有化等、様々な業務改善に努めているか。】 (3.19)

#### イ 最終評価の平均点が中間評価と比較して0.1以上上昇した項目 (10項目)

- 【② 学校は、キャリアパスポートやキャリアプランニング・マトリックスの活用を図り、進路指導の充実に努めているか。】
- 【③ 学校は、ICT活用や指導方法の改善をするなど学習の基礎・基本を定着させ、主体的な学びにつながる授業づくりに努めているか。】
- 【⑥ 学校は、学校全体で取り組む医療的ケアの実施・体制づくりに努めているか。】
- 【⑧ 学校は、校舎改築工事による安全面の配慮と対応に努めているか。】
- 【⑨ 学校は、いじめ・不登校等への予防的取組と組織的対応の充実に努めているか。】
- 【⑩ 学校は、熊毛地区の特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地区の特別支援教育体制の構築及び理解啓発に努めているか。】
- 【⑪ 学校は、小学校・中学校・高等学校と連携した共同学習及び学校間交流、居住地校交流の充実に努めているか。】
- 【⑫ 学校は、屋久島高等学校や関係機関等と連携し、屋久島地区の特別支援教育の充実に努めているか。】
- 【⑬ 学校は、一人一人の課題を情報共有し、保護者や地域及び関係機関と連携した教育を行っているか。】
- 【⑭ 学校は、教育公務員としての自覚と誇りを持ち、同僚性を育み合える教職員の関係づくりに取り組んでいるか。】

#### ウ 最終評価の平均点が中間評価と比較して減少した項目 (1項目)

- 【⑮ 学校は、「報・連・相」の下、「チームなかよう」として課題解決を図っているか。(−0.06)】

## 4 学校評価の成果と課題

### (1) 保護者アンケート

#### ア 中間・最終評価を終えての成果 (自由記述も含む)

- ・ 中間・最終評価の平均点が全ての項目において3.3点以上の高い評価であった。また、最終評価においても、「4：十分実践されている。十分当てはまる。」「3：おおむね実践されている。ほぼ当てはまる。」の評価の割合が100%となっている項目が12項目あることから、学校の教育活動への取組などが概ね評価されていると考える。
- ・ 中間評価の反省で「⑬学校はホームページ(ブログ)の充実活用などによる…」の項目の平均点が低く、更新頻度の意見が挙がっていた。そのため、学校では更新頻度を上げるために記事作成の担当を設定し、コンスタントにホームページやブログなどを更新していくなどの取組を行った。最終評価では、その取組が評価された。

- 自由記述において、「毎日楽しそうに学校に行っています。親としてうれしいです。」「いつも、子どもに寄り添った教育をしていただき親子共々感謝しております」などの肯定的な意見もいただいた。

## イ 中間・最終評価を終えての課題（自由記述も含む）

- 最終評価において、「2：あまり実践されていない。あまり当てはまらない。」「1：実践されていない。当てはまらない。」の評価がある項目（5項目）について
    - 【⑫ 学校は、学校間交流及び居住地校交流に積極的に取り組んでいる。】
      - 居住地校交流では、年度初めに保護者と相手校の意向を踏まえ、受入学級や担任名、実施回数、実施日、時間、活動内容などの確認を行いながら連携を取るなどの体制を構築している。
    - 【⑭ 授業参観やPTA等の実施に向けて工夫をし、その内容の充実に努めている。】
      - 授業参観の利用教室は、予め各学級で連絡するとともに、来校時の受付に利用教室を掲示していく。
    - 【⑮ 子どもは、毎日楽しく登校している。】
      - 児童・生徒の実態や状況などを校内で共通理解・情報共有をしている。児童・生徒に応じて必要な配慮をしたり、保護者と連携を取ったりしながら、登校できるような支援体制を組んでいる。
    - 【⑯ 子どもは、給食を楽しみにしている。】
      - 現在、中種子町の小・中学校の給食センターから給食は提供されている。校内では、必要な児童・生徒に応じて二次調理を行い、食形態の工夫を行っている。二次調理のしやすさや食べやすさに関しては、給食センターの栄養士と連携しながら要望は伝えている。
    - 【⑰ 子どもの成長を感じる。】
      - 家庭訪問や教育相談等で児童・生徒や保護者の願いの聞き取り、児童・生徒の実態など情報共有を行い、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成している。今後は、計画の提示、目標の確認・共有のためのスケジュールを明示していく。
  - 最終評価の平均点が中間評価と比較して0.1以上減少した⑦について
    - ⑰と同様
- 【自由記述より】
- 避難場所や不審者対策などの安全面やタブレット端末等の利用についての項目において、無回答や取組内容が「分からない」、「具体的な対策を知りません」と言った記述があることから、学校の取組の情報発信が足りていなかった。そのため、不審者対応や避難訓練などの職員研修や学校備蓄材の紹介、タブレット端末等の利用状況について、保護者へ学校便りやホームページ、学級通信などで積極的に情報発信をしていく。地震・不審者対応については学校便り第2号で「防災の取り組みについて」という記事を掲載予定。
  - 体操服のデザインについては、今年度体操服の契約更新であったが、現状のままのデザインで契約を更新している。次回の更新時には、保護者の意見等を取り入れるなどしながら検討していく。

## (2) 職員による自己評価のアンケート

※ 中間評価では、平均値が低い5項目(①②③④⑫)を学校の課題として挙げ、課題を解決するために関係する係で改善策を話し合い、学校として取り組むようにした。

### ア 中間・最終評価を終えての成果(自由記述も含む)

- ・ 課題として挙げた全ての項目は、中間評価と最終評価を比較すると平均点が+0.08～0.14点上昇となったことから、それぞれの改善策が有効だったと考えられる。
- ・ 特に①での改善策で挙げた、個別の教育支援計画や個別の指導計画の引き継ぎや作成に当たっては、今までの各学部での研修に加えて全体で共通理解の場や日程を確保する時間を設定できるよう年度当初の会議を調整する。具体的に、指導計画の作成方法や各書式について共通理解をする研修を4月下旬に計画するようにする。
- ・ ②の「キャリアパスポート」については活用することができおり、進路指導についても充実しているなどの意見も挙がっていた。

### イ 中間・最終評価を終えての課題(自由記述も含む)

- ・ ②については、年度当初に各学部で時間を設定し、キャリアパスポートの作成及びキャリアプランニング・マトリックスの活用法等について年度当初に各学部で時間を設定し、キャリアパスポートの作成及びキャリアプランニング・マトリックスの活用法等について共通理解を図る。また、評価する視点が2つあることから、来年度は学校評価の内容を工夫していく必要がある。(特別活動係及び進路指導係)
- ・ ⑤では、シェイクアウト訓練は、年1回津波の日(11月5日)と関連させ、その前後の期間で行っている。来年度以降3学期にも1回行って良いのではないかと係で検討。(防火防災・防犯係)
- ・ ⑬では、行事等において屋久島の訪問教育の先生方との連携不足が課題として挙がっている。訪問教育の先生方は連携が必要な学校行事や校務分掌で係として置き、計画立案の段階から係として参加できるようにする。また、本校と訪問教育がどちらからも連絡が取りやすい、システムを構築する。